

ねりま 地域活動ニュース

発行／練馬区立区民協働交流センター

掲載団体・内容

- 軽スポーツじゃんけんぽん…… 1面
- NPO 法人オレンジカフェ金のまり… 2面
- NPO 法人あそびっこネットワーク… 3面
- 助成金情報 …………… 2・3面
- お知らせ…………… 4面

障害者と一緒にみんなが体を動かすきっかけを 軽スポーツじゃんけんぽん



代表の森下和江さん(左)と
ボランティアの小原あき子さん

軽スポーツじゃんけんぽんは、知的障害者の運動不足を解消するために平成8年に設立され、特別支援学校や福祉施設の体育館で毎月1回活動を行っています。

「障害者は学校を卒業すると運動する機会が極端に減るため、肥満に悩まされるという現状があります。これを解消するため、障害者の親が中心となって会を立ち上げました」と話すのは、4代目の代表を務める森下さんです。



取材当日は体操やフラフープ、トランポリンなどを楽しんでいました。一人ひとりが率先して動き、意欲的に取り組んでいます

「みんな一人ひとり、できることは違います。大縄跳びが得意な子もいれば、地面すれすれの縄をまたぐのが精一杯の子も。本人の達成感を大切に、それぞれのレベルに合わせて工夫をしています」

また、設立当時から講師を務めるのは、練馬区体操指導員連絡会代表の犬塚先生です。

「当日の参加者の状態と、どんな道具があるかを見て、その場でプログラムを決めています。継続して参加している子たちの成長する姿に喜びを感じますね」と、話してくれました。

障害者が積極的に体を動かせる活動をしている団体は少ないため、区外からの参加者もいるそうです。

高齢のため、積極的に運動に関わるのが難しい親でも、ここなら

ボランティアのサポートがあるので安心して任せられると評判です。親同士やボランティアとも交流ができるので、相互の情報交換の場にもなっています。

「ボランティアは手伝いだけでなく、参加者の一人としてスポーツを楽しみながら、それぞれが当



トランポリンでジャンプ! 親やボランティアも含め、モットーは「みんなで楽しむこと」

事者意識をもって運営にも携わっています。定例の活動のほか、季節のハイキングや懇親会などを行い、ボランティア同士のつながりも大切にしています」と、ボランティアの小原さんは話します。

「もっと気軽に活動場所が確保できるようになれば理想的ですね」と、森下さん。

「体を動かすことで、何が得意で何が不得意なのかを知るきっかけにもなり、得意なことを伸ばせば、自信にもつながります。障害の有無にかかわらず運動したいという方、メンバーは随時募集中。興味のある方は、お気軽にご連絡ください!」

■ 軽スポーツじゃんけんぽん
代表：森下 和江
TEL：090-6564-2404(担当・小原)
メール：bonten@b-star.jp

地域活動に関する相談を受け付けています

■ 区民協働交流センターの窓口では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

受付時間：9時～22時
年中無休(12/29～1/3を除く)

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること

専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。

相談希望は区民協働交流センターへ(4面参照)

老いについて深く考え、語り合える場 NPO法人 オレンジカフェ金のまり



理事長の大河内健一さん

武蔵関駅から徒歩15分ほどの閑静な住宅街にある、民家改造型のデイサービス。ここで毎月第2日曜日に開かれているのが「オレンジカフェ金のまり」です。

運営しているのはデイサービスの職員と、リタイア世代を中心としたボランティアの合計20名です。

平成26年からは地域の医師や介護関係者、時には著名な哲学者やジャーナリストなどを招き、「老いを生きる」をテーマとした講演会を開いています。

始めた当初は認知症に関心の

ある人が集まり、お茶を飲みながら気軽に話し合う会でしたが、

「思いや気持ちを共有し合うだけでは足りないと考え、認知症の知識をより深めて、それぞれが抱える問題や課題が解決できるように、4年前から講演会の形式にしました」と、理事長の大河内さんは話します。

一番の特徴は、1時間程度の講演後に40～50分の質疑応答の時間を設けていること。

「一方的に話を聞くだけではなく、双方向に意見を交わして、老いについて深く考える場にしたいという思いを込めています」

講師は、デイサービスの運営で培った、地域の介護関係者のネットワークを活用して依頼しています。参加者は地域の高齢者を中心に、毎回50～60名ほど。会場のスペースが手狭に感じられるほどの大賑わいです。

「外出の機会が少ないので、この会に参加することが楽しみ」と話す90代の方もいれば、「夫婦で毎回参加していたことがきっかけで、夫の看取りのケアをして



木立に囲まれた民家が会場。小さな庭や池もあり、「心が落ち着く」と評判です

もらいました」と話す方も。

講師も含め、老いについていろいろな見方ができるスタッフが集まっているからこそ、講演会の開催だけに留まらず、地域のSOSをキャッチする場としても機能しています。

平成28年に法人化し、平成29年からは区の「街かどケアカフェ」になりました。開催日時などの情報が区報にも掲載され、広報活動もしやすくなったそう。

「参加者からの相談を受ける件数もだんだんと多くなってきました。今後も地域の課題を解決するための相談窓口として、さらに開かれた活動をしていきたいですね」と、大河内さん。関心がある方は、参加してみたいはいかがですか？

■NPO法人 オレンジカフェ金のまり
理事長：大河内 健一
住所：石神井台8-8-8
TEL：03-6766-8660
FAX：03-6766-8680
メール：kin-mari@jcom.home.ne.jp



取材当日の講演テーマは「いっしょに作ろう！ 偏見を超えて～自分らしく生き生き暮らす日々と地域を～」

地域活動団体助成金情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■第12回かめのり賞

日本とアジア・オセアニアの若い世代を中心とした相互理解・相互交流の促進や人材育成に草の根で貢献し、今後の活動が期待される個人または団体を顕彰します。

- (1) NPO(非営利団体)、ボランティアグループ、個人
- (2) 日本とアジア・オセアニアの懸け橋となる活動を目的としていること
- (3) 過去、かめのり賞の顕彰を受けていないこと

【助成金額】1件あたりの上限額：100万円

【募集期限】平成30年9月21日

【関連URL】<http://www.kamenori.jp/kamenorishou.html>

【問い合わせ】公益財団法人かめのり財団「かめのり賞」係

〒102-0083 千代田区麹町5-5 ベルヴェー 麹町1階

TEL：03-3234-1694 E-mail：info@kamenori.jp

■地域活動団体への助成「生活学校助成」

身近な地域や暮らしの様々な課題について、学び、調べ、話し合い、他のグループとも協力し合いながら、実践活動のなかで解決し、生活や地域や社会の活動に取り組むグループが生活学校です。参加いただいた地域活動団体には、当協会から、活動経費の助成や、地域づくり情報誌「まちむら」の提供をいたします。

【助成金額】1件あたりの上限額：17万円

【募集期限】平成30年9月28日

【関連URL】<http://www.ashita.or.jp/sg2.htm>

【問い合わせ】

公益財団法人あしたの日本を創る協会 生活学校公募担当

〒113-0033 文京区本郷2-4-7 大成堂ビル4階

TEL：03-6240-0778 FAX：03-6240-0779

E-mail：ashita@ashita.or.jp

自然と触れ合う楽しさを経験してほしい

NPO法人 あそびっこネットワーク



左から、プレーリーダーの佐々木康弘さん、理事長の中川奈緒美さん、プレーリーダーの寺元草恵さん、藤本奈緒美さん

穴掘りやたき火、木登りなど公園でなかなかできない遊びを、子どもたちが自由にできる「プレーパーク」。光が丘公園では毎週土日に開催し、多い日は200人を超える参加者が集まります。これを運営している団体が「NPO法人あそびっこネットワーク」です。

「自由な時間と、一緒に遊ぶ仲間と、木が1本あれば、登ったり、布やひもを結び付けたり、葉を集めたり。子どもたちは頭と体をフル活用して、さまざまな遊びを

考え出します。こういった遊びの楽しさを子ども時代に十分に味わうことは、その子の価値観の“根っこ”になるのでは? という思いが、活動の根本にあります」と話すのは、理事長の中川さんです。

「しかし最近、小学生に『ここは自由に遊んでいいよ!』と言っても、何をして遊んでいいかわからない。どろんこは服が汚れるからと言って、遊び始めない子どもも増えています。この原因には、乳幼児期から学童期に外遊び体験が少ないことと、親のしつけの影響もあると思います」

そこで、「まずは親に、子どもの“根っこ”を育てる大切さを伝えなければ」と、乳幼児の親子が自由に遊べる場「おひさまびよびよ」を、平成27年4月から開始。また、毎日近くの公園で自由に遊べる、どろんこOKの「学童保育あそびーむ」を、平成29年4月に立ち上げました。どちらも練馬区補助事業として運営しています。

「やっていることは昔から同じ。子どもの“根っこ”が



他の企業と共同運営している羽沢の常設型プレーパーク「練馬区立こどもの森」

豊かに育つために必要な環境は何だろう? と考えて、カタチにしているだけなんです」と、中川さん。

団体名の“ネットワーク”には、中川さんの強い思いが込められています。

「学校から頻繁に不審者情報が届く昨今、困っている時に声をかけてくれる近所の大人の存在は、子どもが外で遊ぶ環境にとって不可欠なんです。また、そんなふうに関わりを築ける“人と人のつながり”は、地域の子もだけでなく、誰にとってもセーフティネットになるはずなんです」

地域の団体や町内会とも積極的につながっていききたいとのこと。興味のある方は連絡してみたいかですか?

■ NPO法人 あそびっこネットワーク

理事長：中川 奈緒美

住所：旭町1-16-1

TEL/FAX：03-3976-3113

(月・水・金9時～16時)

メール：asobikkonet@gmail.com

ホームページ：http://asobikkonet.com/



光が丘公園のプレーパークの様子。木の枝に板を架けたり、ブルーシートをぶら下げたりと、思い思いに自然を楽しむ子どもたち

■第13回「みどり香るまちづくり」企画コンテストの実施

住みよいかおり環境を創出しようとする地域の取組を支援するため、「かおりの樹木・草花」を用いた、優れたまちづくりの企画を選定しようとするものです。かおりの樹木・宿根草等草花を原則として30本以上用いて、街区や近郊地区等で「みどり香るまちづくり」を演出する企画を募集します。

【賞品】企画内容に応じたかおりの樹木・宿根草等草花の苗木・苗(上限100万円相当)

【募集期限】平成30年9月14日

【関連URL】<http://www.env.go.jp/press/105460.html>

【問い合わせ】環境省 水・大気環境局 大気生活環境室

(担当：中田・渡邊)

TEL：03-5521-8299 E-mail：MIDORI-KAORU@env.go.jp

■ JTB交流創造賞

『わが“まち”に誇りを持つために』国内外を問わず旅行者を受け入れる地域として、地域固有の魅力の創出・需要の創造、地域活性化、双方向の文化交流など、一過性のイベントではなく「持続可能な観光」を創造したオリジナリティが生かされた取組み事例を募集します。

【助成金額】最優秀賞1作：賞金100万円

優秀賞2作：賞金50万円

【募集期限】平成30年9月15日

【関連URL】<http://www.jtb.co.jp/chiikikoryu/>

koryusouzousho/obo/index.asp

【問い合わせ】JTB交流創造賞事務局

(株式会社JTB 総合研究所内)

〒105-0014 港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング12階

TEL：03-6722-0757(平日10時～17時30分)

第10回 ロハスフェスタ 東京2018

～みんなの小さなエコを大きなコエに～

9月15日(土)・16日(日) 10:00～17:00

9月17日(月・祝) 10:00～16:00

※入場は終了時刻の30分前まで。

光が丘公園 芝生広場(光が丘4-1-1) 雨天決行

【会費】350円 ※小学生以下無料

※障害者手帳をお持ちの方本人と介助者1名無料

ロハスフェスタは、平成18年10月に大阪でスタートした「おしゃれに楽しく身近なことからエコを実践しよう」がコンセプトの環境イベント。

会場には、健康的な食材を使ったフードやスイーツ、環境に配慮した手作りの雑貨やワークショップなど、250ブース以上が大集合。ロハスステージではミュージシャンのライブやフラダンスのショーなどが開催され、参加型のヨガも行われます。

16日(日)には千人鍋(参加費100円)、起震車による地震擬似体験、また、エコカー水素自動車の展示があります。

※ゴミを出さないイベントを目指して、使い捨ての容器を使用していません。
マイ箸、マイ食器、マイボトル、エコバッグをお持ちください。



東京会場での開催は、今年で記念すべき10回目を迎えます!



会場内は、多くの来場者でにぎわいます

【問い合わせ】

ロハスフェスタ東京事務局

TEL: 03-6427-1085

メール: lohas-press@lohasfesta.jp

URL: <http://event.lohasfesta.jp/tokyo/top/>



練馬区社会福祉協議会 平成31年度

(平成30年度申請・平成31年度使用)

助成事業説明会

【日時】・9月4日(火) 18:00～19:00
予約/8月31日(金)まで

・9月7日(金) 14:00～15:00
予約/9月5日(水)まで

※両日とも説明内容は同じです。

【場所】練馬区役所本庁舎19階 1903会議室
(豊玉北6-12-1)

【内容】助成事業および申請方法の説明、助成団体からの活動報告など

【参加費】無料

【申込・問い合わせ】社会福祉法人練馬区社会福祉協議会 助成事業担当 TEL: 03-3992-5600
FAX: 03-3994-1224 URL: <https://www.neri-shakyo.com/>



練馬区立区民協働交流センター

練馬1-17-1ココネリ3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時～22時(12/29～1/3は休業)



facebook

<https://www.facebook.com/Nerimakoyodokoryucenter/>



練馬区立区民協働交流センター フェイスブック

検索



twitter

https://twitter.com/kyodo_nerima



練馬区立区民協働交流センター ツイッター

検索

ホームページ

<http://www.nerima-kyodo.com/>



練馬区立区民協働交流センター

検索

★音声でお読みください

ご存知でしたか? 練馬区立区民協働交流センター発行「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。

NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松2-16-12 TEL: 03-3577-5666